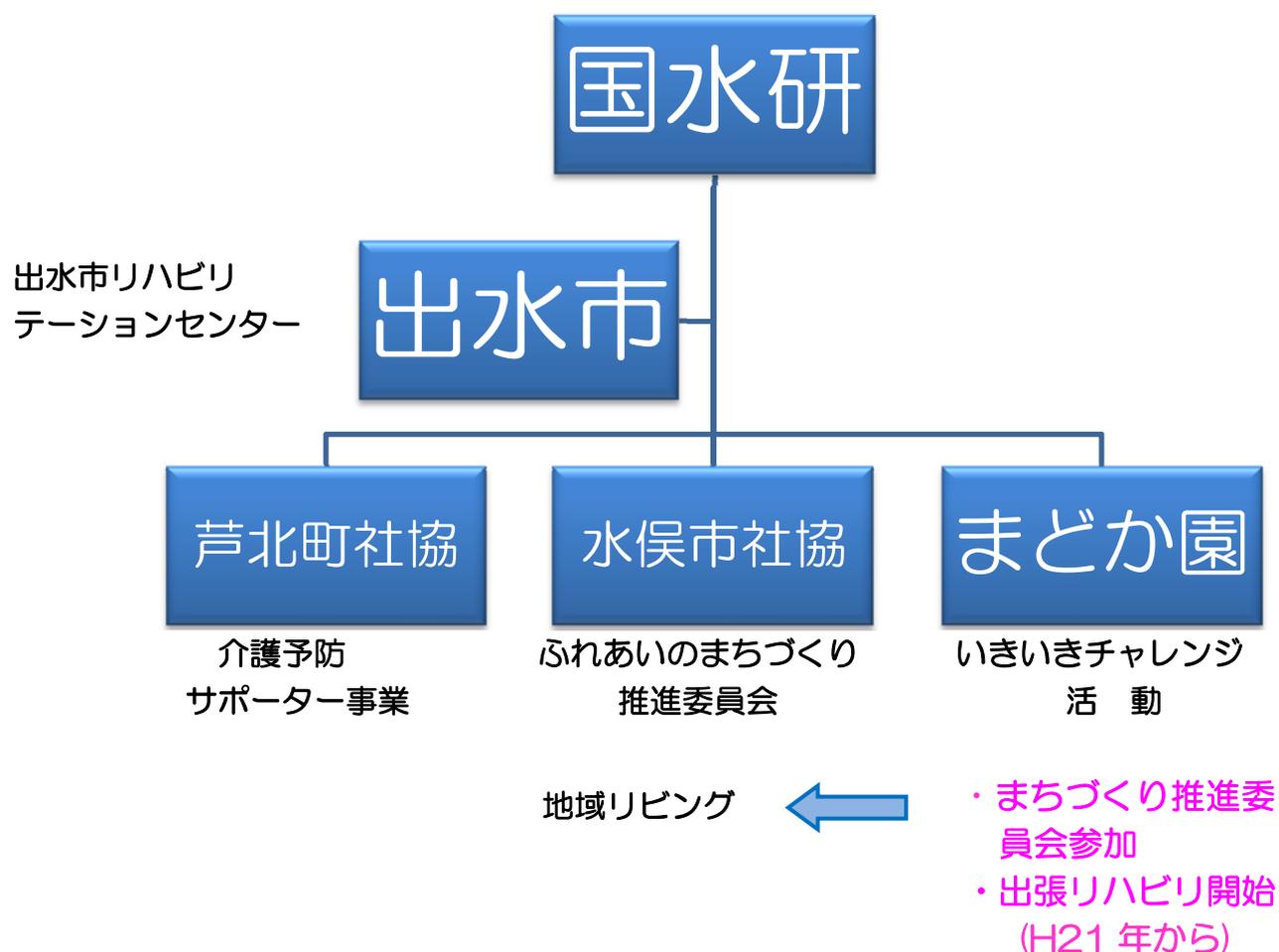


平成 23 年度介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業報告会

4月12日（金）、もやいホール（水俣市牧の内、もやい館3F）にて、上記報告会を開催しました。

本事業は、平成18年度から3年間実施した「介護予防等在宅支援モデル研究事業」の継続事業として、平成21年度から3年計画で、モデル研究事業の成果をより実践的に実施し、介護予防在宅支援事業が地域社会に根付いた活動になることを目的としています。

概略を下図に示します。



報告会の発表概要は以下のとおりです。

『水俣市社協』：生活機能低下予防や健康寿命の延伸に関する事業に加え、地域住民のつながりの強化、社会資源の活性化により地域社会における自主的介護予防への取組を推進するための事業を実施。

「ふれあいまちづくり委員会の運営」「ニーズ調査」「地域リーダー等の人材育成」「地域リビング」を行った。

本年度実績：地域リビング参加者数：10,250名

視察者数：181名、講演及び発表数：6か所

本年度は、20箇所の地域リビングを拠点に、12の介護予防教室(音楽療法、健康づくり教室、出前福祉講座、レクリエーション教室、口腔ケア、フットケア de 大満足！防災教室、介護予防太極拳、安全教室、メイク&タクティールケア、絵手紙教室、ヨガ教室)の他に、自主活動(カラオケ教室、編み物教室、施設交流、懇談会、ゲートボール)も行った。

また、本年度も国水研から全地区に対して作業療法の指導を行った。



この6年間で個人にむけたアプローチによる体力増進はもちろんのこと、地域の中のことは地域で解決しようとする機運が盛り上がり、地域の中に福祉力が備わってきた。

『まどか園』：いきいきチャレンジ活動は年間を通じて今まで取り組んだ事業の効果を低下させることなく、飽きのこない充実したプログラムを実施した。

本年度実績：いきいきチャレンジ参加者数：3,475名



体力づくり(機能回復)・相談支援・趣味づくり・生きがいづくり・野外部園芸を行った。

また、「いきいきチャレンジ活動」のパンフレットを配布し、普及活動を地域の関係機関や施設見学者などへの参加呼びかけを実施した。

前事業からの継続した取り組みを安定した体制で提供し、多くの活動参加者にいつでも楽しみながら介護予防等について考え元気になっていただける事業を提供することができた。参加者が年々増加し、多くの方から好評を得た。また、障害を持ちながら生活されている人には、それぞれの自信につながり活動参加に対して積極性が見られるようになった。

『芦北町社協』：「あそび」をコンセプトに楽しみながら自発的に運動機能向上・認知機能向上に取り組むシステムづくりを展開した。地域の各公民館等で介護予防を

行うことにより、介護予防活動の頻度の増加になり、地域住民が主体となり、地域で地域を支える地域社会の構築のため、介護予防サポーターの育成・派遣を行った。

本年度実績：参加者数：1,736名、視察者数：25名、

各種講演・研修参加者数：263名、サポーター延べ人数：652名

本年度の取組として、

1. 介護予防戦略

介護予防モデル地区(拠点事業)・一般地区(拠点地区)・自主開催地区(地元公民館)での開催。

2. 身体機能面へのアプローチ

「健康講話」「専門トレーニング」「ホームプログラム」「ニュースポーツゲーム」～公民館

「リハビリテーションマシン」～拠点

また、冬季におけるインフルエンザ等の感染予防対策。

3. 認知機能面へのアプローチ

認知機能向上を目的として、「図形」を中心としたプログラムと、テンポアップしながら歌を歌う音楽への取り組みを行った。

4. 口腔機能へのアプローチ

「口腔ケアブラシ」を配布し、説明を行い口腔ケアへの意識向上を行った。

5. 地域間連携

介護予防サポーター事業では、他圏域との協議や連携を継続して行った。また、近くの保育園や小学校との交流事業を行った。



『出水リハビリテーションセンター』：加齢による心身の機能低下を予防し、楽しみながら自主的に健康維持・増進が図れるように支援することを目的に実施。

月・水・金の9:30～11:30に手工芸・健康体操・口腔ケア・太極拳・音楽療法・絵手紙を行った。

本年度実績：リハビリ参加者数：733名



今後は、出水市役所や出水社協との連携を図りながら、地区公民館などに国水研がボランティアで出向するという形を検討中で、地域住民への呼びかけや活動内容の充実、認知予防に向けた活動の実践を図る予定である。

報告会の様子



報告会では、23年度の各取り組みの報告のほか、3年間の事業報告も行われました。また、実際に指導している方の発表も加わりました。今年の報告会には80名の方に出席していただきました。

報告会終了後、会場参加者のみなさまにアンケート（Q1. 本事業が周知されているか、Q2. 今回の報告会参加のきっかけ、Q3. 報告会での事業内容は理解できたか、Q4. 今後の事業の取り組みへの意見、Q5. 国水研への要望）にご回答いただきました。多くの参加者からご意見が寄せられました。概要は、以下のとおり

- 国水研の委託事業であることを知らなかった。
- 素晴らしい事業であり、今後とも事業支援をお願いしたい
- 介護予防事業の取り組みをもっと周知し、参加者の拡大につなげてほしい
- 将来を見据えて地域に広めてほしい
- 事業を通して国水研を知るきっかけになった
- 今後も必要な事業であるので、支援事業終了後の運営の確立
- 報告について資料があればもっとわかりやすかった
- 地域に根ざした継続的な活動をしてほしい

ご報告いただいた皆様、ご来場くださいました皆様、どうもありがとうございました。国水研では皆様からのご意見をもとに、さらに充実した事業を展開して参ります。